

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
教育課程概説 An Introduction to Curriculum		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	必修 (保育士養成課程必修・教職課程必修(幼稚園教諭二種))	児童フィールドのみ	
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
保育士資格取得に必要な科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
保育士資格取得に必要な科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
藤原保利	本館2階	火・水・木・金の9時から16時(授業時間は除く)		授業中に指示します
授業の概要				
保育の基本と計画、保育における計画の変遷、教育課程、保育課程の編成、教育課程・保育課程・指導計画の実施と指導、保育における評価などについて講義し、幼児の「生きる力」を育むカリキュラムの方向性を考える。				
授業の目標				
①教育課程、保育課程、指導計画の意義、編成、作成の手順を習得することができるようにする。 ②戦前並びに戦後の保育計画の変遷について基本となる知識を習得することができるようにする。 ③NAEYCの発達にふさわしい保育実践(DAP)の特質を説明することができるようにする。				
授業の方法				
基本的に板書を中心とした講義形式で行う。単元終了時に小テストを行う。レポートの提出を求める。「調べる・考える学習」の展開を図る。グループ・ディスカッションを導入し、グループごとに発表を求める。				
学習の成果(学習成果)				
①教育課程、保育課程、指導計画の意義並びに編成・作成手順等の習得を踏まえ、日々の保育実践に活用することができる。 ②戦前並びに戦後の保育内容・保育計画の変遷についての正確な知識並びに時代時代の特徴を捉えて、今日の日本の保育内容(保育所保育指針、幼稚園教育要領)を批判的に考え、新たな視点を持つことができる。 ③保育実践の評価の意義、評価の方法を正しくとらえ、NAEYCの発達にふさわしい保育実践等を踏まえて明日への保育の充実につなげることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス 授業の概要と進め方の説明 レポートのテーマと提出期限等について説明			
第2回目	保育の基本と計画 保育における計画の必要性 保育計画立案の基本 計画の実施、反省・計画、改善			
第3回目	NAEYCの基本見解 DAP(発達にふさわしい実践)			
第4回目	NAEYCの基本見解の理論的根拠 NAEYCの子どもへの約束			
第5回目	発達にふさわしい実践の基礎となる子どもの発達と学びの原理(誕生～3歳)			
第6回目	発達にふさわしい実践の基礎となる子どもの発達と学びの原理(3歳～5歳)			

第7回目	発達にふさわしい実践を作るためのガイドライン		
第8回目	発達にふさわしいカリキュラムづくり	家族との相互関係	
第9回目	発達にふさわしい実践と教師の役割		
第10回目	乳幼児のための発達にふさわしい実践 <小テスト>		
第11回目	教育課程と保育課程 指導計画と指導計画作成の留意点		
第12回目	短期の指導計画作成の実際 短期の指導計画の役割 週、日案の内容 幼児理解の方法		
第13回目	具体的なねらい、内容のとらえ方 環境構成と活動との関連 週案、日案の立て方例 <小テスト>		
第14回目	保育における評価とその意義 試験		
第15回目	「一日の生活」の流れに対する評価 保育の充実と反省・評価		
成績評価の方法と基準			
評価の領域		割合	評価の基準
授業参加態度		10%	授業で使われる教材を準備して臨んでいる。ディスカッションの場面で自分の意見を述べる。授業に集中し、ノートをきちんととっている。不明な点があれば積極的に質問する等々。(詳細はガイダンス時に説明する)
レポート		20%	詳細に課題を探索し、内容構成もしっかりとしており、課題の要件を十分に満たしている。(詳細はガイダンス時に説明する)
調査報告書			
小テスト		20%	単元終了時に小テストを4回実施する。授業や教科書に書かれている内容が十分に表現されている。(詳細はガイダンス時に説明する)
試験		50%	論述式である。設問に対する要求を満たし内容構成もきちんとしており、更に、授業内容及び教科書に書かれている範囲を超えて、自分の考え方も示されている。(詳細はガイダンス時に説明する)
発表内容(態度含む)			
その他			
教科書と参考図書			
使用テキスト:「保育原理」 待井和江編 ミネルバ書房 参考図書:「教育課程・保育計画論」高杉自子他編著			
履修上の留意点・ルール			
意欲的、積極的に授業に臨むこと。遅刻厳禁。飲み物等持込禁止。			